



注>
個々の算定詳細開示のご希望に
関しましては、別途NDA締結を前
提とさせていただきます。

- I .構成する原糸：(自社品) ISOを十分考慮して自社にて算定
 (他社品) データベースや文献値等2次データを活用(別表a)
- II .テキスタイル製造：ヴァリューチェーン各プロセスでのユーティリティソース別のエネルギー消費量を後述手法でシミュレーション算出し、その値にGHG排出係数を乗じることでCO2eとして算出。

個別の品番毎に機能単位当たりの上記 I . II .を積算し、排出量想定値を算出するもの。

※GHG算出係数に関しては環境省 総合環境政策局 環境計画課「温室効果ガス総排出量 算定方法ガイドライン」

Ver. 1.0 に準拠し、政令及び算定省令を根拠とする排出係数一覧を参照

※電力係数に関しては、環境省・経済産業省公表の「電気事業者別排出係数」

(特定排出者の温室効果ガス排出量算定用)を使用した。

【別表a】

繊維タイプ	排出係数出所	繊維タイプ	排出係数出所
植物繊維(綿)	IDEA;GWP100	その他合繊 Ny6	IDEA;GWP100
同 認証糸	IDEA;GWP100	Ny66	IDEA;GWP100
植物繊維(麻)	IDEA;GWP100	PP	自社算出値
同 認証糸	IDEA;GWP100	アクリル繊維	自社算出値
動物繊維(獣毛)	IDEA;GWP100	ビニロン	IDEA;GWP100
同 認証糸	IDEA;GWP100	ポリウレタン	IDEA;参考
シルク 等	IDEA;GWP100	PE	自社算出値
同 認証タイプ	IDEA;GWP100		
ビスコース長繊維	IDEA;GWP100		
同 認証糸	文献値より上記補正		
キュプラ/テンセル長短	IDEA;GWP100		
同 認証糸	文献値より上記補正		
ポリエステル繊維	文献値より試算		
同マテリアルリサイクル糸	文献値より試算		
同ケミカルリサイクル糸	文献値より試算		
同バイオ由来	文献値より試算		
金属繊維・無機物繊維	IDEA;参考		

各プロセス値の算出手法

※前述の通り、GHG排出量に関しては各エネルギーリソースの使用量を基に換算係数を用いて算出しているため、以下はエネルギー消費量の算定手法として明示する。

撚糸工程

当該工程におけるエネルギーリソースは電力。撚糸機種別の消費電力能力差は勘案せず。(現行の代表的機種想定)

特殊撚糸:特殊な撚糸手法に関しては、各品種について網羅的に電力使用量を実測モニタリング。重量当たりの原単位として算出し使用。

通常撚糸:糸種織度タイプや撚糸条件によって変化する、撚糸機の回転数や稼働時間、出来高を前提に電力消費量を想定する。撚り係数を基準にシミュレーション可能なアルゴリズムを設定し算出するもの。アルゴリズムには、別途代表的な撚糸品種群に関するモニタリングによる使用電力値を実測確認し、データ検証した上で、計算値の振れをミニマイズする補正值計算も組み込む。

準備工程

当該工程におけるエネルギーリソースは電力及び熱源ボイラー。

サイジング・ビーミング:各リソースの使用実績と出来高実績より原単位(糸長さ当たり)を算出使用。

製織・製編

当該工程におけるエネルギーリソースは電力。撚糸同様に機種別の消費電力設計による能力差は勘案せず。(現行代表的機種想定)

製織:複数機業場での代表品番生産における電力消費量をモニタリング測定。データ検証を行った上で、電力消費基準(回転数・時間)と相関する生地が出来高想定を基に近似値算出可能なアルゴリズムを設定。

製編:織物同様に電力消費基準(回転数・時間)に相関する生地のウェル・コース・ゲージワーク・ニット種(シングル・ダブル・トリコット)を基に算出可能なアルゴリズムを設定。

染色

当該工程におけるエネルギーリソースは電力及び熱源・蒸気・用水。染工場毎に加工のプロセスやユーティリティ起源が異なるため、染工場別・加工フロー別に体系化。染色条件(色・ロット・再加工)による振れは除外し、適正LOTとして標準モデル化し算出。

ソアロン商材に関わる①各染工場②商材グループ毎の染色工程フローを整理体系化した上で、各々のフローをプロセス毎に細分化。

それらの各プロセス毎のリソース使用実績をモニタリングし、標準モデル加工としてのエネルギー消費量として算出。加工切替時等に発生する消費エネルギー負荷は平均的に配賦した。SOAGREEN算定では品番毎に対象の染工場・加工フローを選択することで細分化したプロセスのリソース消費量が積算される仕組みとした。